

澄むか濁るか(ファイルNo.35)

カ・サ・タ・ハ行の仮名に濁音符が付くと濁音。ハ行の仮名に半濁音符を付けるとパ・ピ・プ・ペ。英語なら濁音と清音は、例えばHとBのように文字で区別されますが、日本語の仮名は「点々」や「丸」の符号で区別するだけ。カもガも似たようなものだということでしょうか。清音と濁音は大違いだと思うのですが、日本語が曖昧だといわれるのは、このあたりに原因がありそうです。

「世の中は澄むと濁るで大違い。刷毛(ハケ)に毛があり禿(ハゲ)に毛がなし」という戯れ歌があります。たしかに、ハケとハゲでは大違いです。今回はその大違いがテーマ。前置きに徳川家康が登場します。

家康は狸親父のイメージから野に展開する野戦よりも城攻めが得意だったように思えますが、実際は逆。得意であった野戦で家康は生涯三度、死地を経験しています。大坂夏の陣では、日本の兵(ひのもと)うちのつわもの(真田信繁(幸村)の突撃に、一時は自害を

覚悟したといわれます。関ヶ原では、世界戦史にも例がない島津軍の前方退却がありました。退却でなく家康の命だけを狙った突撃であったのなら、とは歴史の「イフ」にすぎません。危機に直面したとはいえ家康は、大坂の陣も関ヶ原も勝利しています。得意とする野戦で生涯唯一の敗北を喫したのが三方ヶ原の戦い。

◎鞍に「味噌」

京を目指す武田軍は、浜松城の家康を無視して通過しようとした。これに怒った家康は出陣し、三方ヶ原で武田軍と戦したのですが、「蹴られてしまいます。武田騎馬隊のあまりの強さに恐怖し、敗走中に家康は馬上で脱糞しました。城に着くと大久保忠教(彦左衛門)が「殿、鞍に味噌がついておりますぞ」と。主君に面と向かってそんなことを言ったかどうかは定かではありませんが、脱糞そのものは事実でしょう。彦左衛門が子孫のためだけに残した家訓書『三河物語』に記しています。門外不出だったので、後に写本が人気となりました。

脱糞しても家康の偉いところは、

城の門を開け放ち篝火を焚いたこと。どうぞ攻め込んでくださいといわんばかり。捨て身のハッターなのですが、畏ではないかと深読みしすぎて、武田軍は去りました。後に、家康は三方ヶ原の敗戦を教訓とするため、苦り切った表情の自分の姿を絵師に描かせています。さて、城を包囲していた武田軍から家康に届いた句が本題です。

◎松は枯れるか

まつかれてたけたくひなきあしたかな
松(松平つまり徳川) 枯れて、竹(武田) 類(たぐい) なきあしたかな

家康をからかう句ですが、徳川陣営の酒井忠次はこの句に手を加えて武田軍に送り返しました。

まつかれてたけたくひなきあしたかな(松枯れて武田首なきあしたかな)

元の句と清音としての文字はまったく同じですが、濁点だけが変わっています。それだけで意味がまったく逆になってしまいました。一説では、武田軍が句を送ったのは家康ではなく、上杉であったといえます。松ではなく杉だったということですが、それは措くとして気になるのは、この逸話そのものが出来すぎていて信じ難いということ。後世の人は、濁点による意味の逆転だけを楽しめばいいでしょう。音節が少ない日本語のなせる業でもあります。

ガラストップ ガスコンロ販売中!

オートグリル機能付

魚の形状・焼加減を設定すると、自動で魚を焼き上げます。



台数限定!

60cm PA-A61WCV(R/L)

定価:96,984円(税込)

現在特価 **57,800円**

7年^{※2}リース **800円** (税込) 月々

※1 販売は1年メーカー保証付
※2 リースは7年間メーカー保証付

健康ライフ

100メモ

化粧品の落とし残し シミの原因?




化粧品の落とし残しが肌に沈殿してシミになる、という人がいます。本当でしょうか。化粧品に使われている顔料は粒子が大きいので、肌に吸収されることはありません。ただ、落とし残し成分が何かと化学反応して予期せぬことが起こることはあります。また、化粧品の油分が汚れなどと混じって肌トラブルが起ることはあるでしょう。

化粧を落とす時に気を付けなければならぬのは、落とし残しよりも摩擦などの刺激です。摩擦がシミの原因になることはあるからです。落とし残しがシミになることはまずありませんが、落とし方が問題だということ。なお、化粧品が肌に合わないや炎症を起こし、炎症のあとがシミとして残ることはあります。

★白菜のサラダ★

〔滋賀県近江八幡市 蜂谷洋子様〕

わが家の自慢料理



①白菜2枚程度。白いところも葉の部分も5センチほどに切り、次に3ミリほどの細切りにする。

②ハム、エビ、ブロッコリーなどと盛り合わせる。

③ゴマドレッシングなど、好みのものをかける。

白菜は中心部ほど甘くて美味しい。高いレタスの代用です。

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。